

# 第16回(2018年度)日本時間生物学会学術奨励賞公募のお知らせ

日本時間生物学会学術奨励賞選考委員長 本間研一

学術奨励賞は、時間生物学の領域で顕著な業績をあげ、今後の活躍が期待される若手研究者に与えられます。原則として、基礎科学部門1名、臨床・社会部門1名の計2名を受賞者として選出します。自薦、他薦を問いませんので、奮ってご応募下さい。応募にあたっては下記の要領に従って下さい。なお、受賞者は本年10月20-21日に長崎大学で行なわれる学術大会で受賞講演をしていただきます。

## 応募資格

1. 日本時間生物学会の会員であること

2. 年齢および研究歴

応募者は応募締め切り時点で41歳以下であること。博士号取得者は取得後11年以内、修士号取得者および6年制学士号(医学部、歯学部、獣医学部、薬学部)取得者は取得後13年以内であること。なお、博士号、修士号、6年制学士号を取得していない者でも、41歳以下なら応募資格があります。

応募締切日：平成30年(2018年)7月31日(火)必着

応募方法：応募書類を学会事務局あてに、E-mail(PDFファイル)で送付すると同時に、プリントアウトしたものを郵送してください。

宛先：〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院生命農学研究科  
動物機能制御学研究分野内  
日本時間生物学会事務局 吉村 崇  
E-mail: takashiy@agr.nagoya-u.ac.jp

応募書類：書類には下記の内容を記載して下さい。

1. 希望審査部門(基礎科学部門、臨床・社会部門)
2. 氏名(ふりがな)
3. 生年月日
4. 現職
5. 最終学歴(学位取得年月)および職歴
6. 日本時間生物学会の会員歴、ならびに活動歴(学会発表、学会誌への寄稿、学会、学術大会等の運営、その他)
7. 時間生物学会あるいは他学会等での表彰歴
8. 本件に関する連絡担当者名とメールアドレス
9. 業績
  - (1) 研究課題名
  - (2) 研究の内容(字数に制限はありません)
  - (3) 時間生物学に対するこれまでの貢献と今後の可能性(具体的に分かり易く記入すること)
  - (4) 論文リスト
  - (5) 推薦状(自薦の場合は必要ありません)

以上です。